

「厚生指標」医療職のための統計シリーズ(2021.1月号～2023.3月号)において下記の誤りがありました。
お詫びして訂正いたします(一般財団法人厚生労働統計協会 編集部)。

2024/3/29

該当巻数号	該当回	頁	該当カ所	誤	正
第68巻第5号	第5回	43	左段7行目	収集期血圧	収縮期血圧
〃	第5回	47	左段20行目	四分位点	四分位数
第68巻第6号	第6回	47	左段3行目	二値アウトカム	離散アウトカム
〃	第6回	47	図2、図3	縦軸VAS、横軸QOL	縦軸QOL、横軸VAS
第68巻第12号	第10回	52	左段11行目	1.23倍高い	0.81倍
〃	第10回	52	右段11行目	1.23倍リスクが高まる	リスクが0.81倍となる
第69巻第4号	第15回	48	左段2～6行目	$\hat{\sigma}^2$ は Y_{ij} の分散の推定値である。 $\hat{\sigma}^2$ は、すべての対象者に対する収縮期血圧の平均 $\bar{Y} = (\sum_{j=1}^{n_1} Y_{1j} + \sum_{j=1}^{n_0} Y_{0j}) / (n_1 + n_0)$ を用いて、 $\hat{\sigma}^2 = \frac{\sum_{j=1}^{n_1} (Y_{1j} - \bar{Y})^2 + \sum_{j=1}^{n_0} (Y_{0j} - \bar{Y})^2}{n_1 + n_0 - 1}$ と計算される。	$\hat{\sigma}^2$ は Y_{ij} の分散の推定値であり、 $\hat{\sigma}^2 = \frac{\sum_{j=1}^{n_1} (Y_{1j} - \bar{Y}_1)^2 + \sum_{j=1}^{n_0} (Y_{0j} - \bar{Y}_0)^2}{n_1 + n_0 - 2}$ と計算される。
〃	第15回	48	左段下から4行目	$V[W] = \sqrt{n_1 n_0 (n_1 + n_0 + 1) / 12}$	$V[W] = n_1 n_0 (n_1 + n_0 + 1) / 12$
〃	第15回	49	表2 棄却割合(シミュレーション回数:10,000回) 各群の収縮期血圧が正規分布(左右対称の分布)に従い、群間で平均が異なる場合、3行目、想定するモデルの列	図1(c)	図1(a)
〃	第15回	51	図4、凡例	点線 候補変数60個	点線 候補変数50個
第69巻第5号	第16回	49	図2 右図	各5%	各10%
〃	第16回	49	図2 右図	各10%	各20%
〃	第16回	49	図3	1.96以下の裾面積(第二種の過誤確率)5～10%	1.96以下の裾面積(第二種の過誤確率)10～20%
第69巻第15号	第22回	47	図1	縦軸:生存率	縦軸:生存数